

教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検及び評価
－ 平成22年度の実績 －

白鷹町教育委員会

教育委員会制度は、市町村長から独立した機関であり、合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本方針のもと、教育事務を執行するものです。

平成20年4月に、教育委員会の組織や運営に関し、基本的事項を定めている地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、毎年各自治体の教育委員会は、その教育行政事務の管理執行状況について点検・評価を行い、その結果を議会に報告し及び公表することになりました。

このような状況を踏まえ、白鷹町教育委員会では、本町における教育行政事務の点検・評価を以下のとおり実施しました。

1. 目 的

本町教育行政事務の実施状況について、課題や今後の方向性を明らかにし、効果的な教育行政の推進を図っていくため、教育委員会の事務事業の点検・評価を

また、その結果を町議会に報告し、及び公表することにより、町民への説明責任を果たす。

2. 方 法

点検・評価は、白鷹町教育行政一般方針を踏まえ、点検・評価は毎年度1回実施するものとし、前年度の主要な取り組み・重点的な取り組みの実施状況を点検するとともに、課題や今後の取り組み方を示すものとする。

今回は、平成22年度に行った主要な事務事業についてそれぞれ点検・評価を行った。

参 考

〈地方教育行政の組織及び運営に関する法律〉

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

○教育委員会開催実績

委員会開催日	議 案
4月27日	議第16号 地区公民館分館長、書記の任命について
	議第17号 白鷹町文化財保護審議会委員の任命について
	議第18号 白鷹町図書館協議会委員の任命について
	議第19号 白鷹町障がい児就学指導委員会委員の委嘱について
	議第20号 白鷹町社会教育委員の委嘱について
	議第21号 公民館運営審議会委員の委嘱について
	議第22号 地区公民館運営委員会委員の委嘱について
	議第23号 白鷹町青少年育成推進員の委嘱について
	議第24号 白鷹町スポーツ振興基金運営委員会委員の委嘱について
	議第25号 白鷹町競技力向上対策委員会委員の委嘱について
5月28日	議第26号 白鷹町立小・中学校学校評議員の委嘱について
	議第27号 地区公民館職員の任命について
	議第28号 白鷹町学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について
	議第29号 白鷹町文化交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定に関する意見聴取について
	議第30号 白鷹町文化交流センターの管理及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について
8月17日	議第31号 白鷹町教育施設使用条例の一部を改正する条例の制定に関する意見聴取について
	議第32号 平成23年度使用教科用図書採択について
9月30日	選第2号 白鷹町教育委員会委員長の選挙について
11月18日	議第33号 教職員の懲戒処分について
	議第34号 教職員の懲戒処分について
	議第35号 教職員の処分について
11月30日	議第36号 白鷹町における小・中学校の配置計画の見直しについて
	議第37号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について
1月12日	議第1号 白鷹町史編さん基金条例の設定に関する意見聴取について
2月16日	議第2号 平成23年度白鷹町教育行政一般方針について
	議第3号 平成23年度白鷹町一般会計予算のうち教育費に関する予算の意見聴取について
	議第4号 白鷹町立小、中学校設置条例の一部を改正する条例の制定に関する意見聴取について
	議第5号 白鷹町史料保管センター設置及び管理に関する条例を廃止する条例の設定に関する意見聴取について
	議第6号 白鷹町教育施設使用条例の一部を改正する条例の制定に関する意見聴取について
3月10日	議第7号 平成23年度教職員人事異動の内申について
	議第8号 平成23年度白鷹町教育委員会事務局職員の人事異動方針について
3月24日	議第9号 白鷹町立小・中学校、学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
	議第10号 白鷹町教育相談員の委嘱について
	議第11号 白鷹町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について
	議第12号 平成23年度白鷹町教育委員会事務局職員人事異動の内申について

※その他、協議会、学校訪問、各学校行事、研修会等の参加があります。

事業点検評価調書

Ⅲ(1)地域に根ざした、心かよう白鷹の学校づくり

10.01.02-040	事業名	地域学校安全体制整備事業	
予算額(千円)	275	実績額(千円)	274
事業目的		事業概要	
安全で安心できる学校の安全体制を確立するため、地域学校安全指導員を委嘱し見守り指導にあたる。		地域学校安全指導員を委嘱し、通学時の不審者対策など見守り指導にあたる。	
実績・成果			
地域学校安全指導員を1名委嘱した。交通安全はもとより、不審者対策・熊対策なども含めた通学時の見守り指導を実施した。学校・警察とも情報交換して指導にあたった。日数が限られた中ではあるが、関係者と連携した活動ができた。			
目標指標等		指標結果	
不審者・声かけ事案の発生 0			
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

10.01.02-045	事業名	地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業(明許繰越) 〈スクールバス車庫整備事業〉	
予算額(千円)	30,461	実績額(千円)	30,316
事業目的		事業概要	
児童の安全な通学手段であるスクールバスの格納庫の確保		全町スクールバス化に伴い6台の車輛を保有。管理面から格納庫を建設する。	
実績・成果			
めぐりや健康広場駐車場に6台格納できる車庫を建設した。積雪時でも適切な運行管理ができるようになった。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

Ⅲ(1)地域に根ざした、心かよう白鷹の学校づくり

10.01.03-010	事業名	スクールバス運行管理事業	
予算額(千円)	37,972	実績額(千円)	30,226
事業目的		事業概要	
児童の安全な通学手段の確保		全町的スクールバス化により、児童生徒の通学の安全を確保する。路線バス利用者の定期代も全額町負担する。	
実績・成果			
全町的スクールバス化により6台の車両による運行を開始し、児童生徒の通学の安全性を確保した。路線バス利用者の定期代も全額町負担している。また、ルートを外れる杉沢、海生地区の児童はタクシーを利用して通学手段を確保した。中体連等の大会にも利用し、部活動の遠征等についても各部年1回は町負担で対応している。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

10.02.01-010	事業名	学校管理費(小学校)	
予算額(千円)	64,153	実績額(千円)	55,187
事業目的		事業概要	
学校の適正な施設管理、学校運営を行い、児童の学習環境の充実に資する。		学校施設の適切な管理、学校運営業務を行う。	
実績・成果			
限られた予算のなかで、工夫・節約しながら対応している。特に修繕費、工事費など施設整備が遅れている。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
A	施設の老朽化により施設・設備の整備費用が増大している。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

Ⅲ(1)地域に根ざした、心かよう白鷹の学校づくり

10.03.01-010	事業名	学校管理費(中学校)	
予算額(千円)	36,364	実績額(千円)	30,650
事業目的		事業概要	
学校の適正な施設管理、学校運営を行い、児童の学習環境の充実に資する。		学校施設の適切な管理、学校運営業務を行う。	
実績・成果			
限られた予算のなかで対応している。特に修繕費、工事費など施設整備が遅れている。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
A	施設の老朽化により施設・設備の更新等が先送りされている。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

10.02.01-110	事業名	小学校耐震診断事業	
予算額(千円)	1,213	実績額(千円)	1,050
事業目的		事業概要	
対象建物で耐震診断が未実施のものについて優先度調査を行い、耐震診断を終了する。		対象となった蚕桑小学校と東根小学校の管理棟・特別教室棟などについて優先度調査を行う。	
実績・成果			
蚕桑小学校と東根小学校の管理棟・特別教室棟などについて優先度調査を行った。いずれもある程度の強度を保っていると判断した。			
目標指標等		指標結果	
小学校耐震診断率 100%		小学校耐震診断率 100%	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

Ⅲ(1)地域に根ざした、心かよう白鷹の学校づくり

10.02.01-110	事業名	地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業(明許繰越) 〈蚕桑小学校プール改修事業〉	
予算額(千円)	7,900	実績額(千円)	7,578
事業目的		事業概要	
各学校の施設・設備の改修を行い、学習環境の整備を行う		老朽化によりプール内部の塗装がはく離している蚕桑小学校のプール塗装工事を実施	
実績・成果			
国の補正予算を活用しなかなか実施できなかった施設整備を行い、水泳学習環境の整備ができた。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

10.03.01-100	事業名	地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業(明許繰越) 西中学校排水設備改修事業	
予算額(千円)	4,525	実績額(千円)	3,467
事業目的		事業概要	
施設の老朽化に伴い不具合等を改修し適切な教育環境整備を行う		西中学校の排水設備等の改修を行い教育環境の整備を行う	
実績・成果			
西中学校の排水設備等の改修を行い教育環境の整備を行った			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

Ⅲ(2)知・徳・体が調和した、笑顔かがやく白鷹の子どもの育成

10.02.01-015	事業名	教育相談事業	
予算額(千円)	806	実績額(千円)	728
事業目的		事業概要	
教育相談員と家庭、学校が連携を図りながら不登校児童生徒の解消を図る。個々の児童生徒の状況に合わせた適切な相談・指導を行い、集団生活等に対応できるようにする。		教育相談員2名を委嘱し、関係機関と連携しながら学習指導、相談活動を行っている。毎月2回、教育相談員、不登校対策担当教諭による定例会を開催している。不登校児童生徒については、毎週木曜日に荒砥地区公民館で八乙女教室を開催している。	
実績・成果			
児童生徒の個別の状況に合わせた懇切丁寧な指導を行い、徐々に生活学習状況に変化が見られた。教育相談員が家庭、学校との相談や会議を行うことで安心感が生まれている。			
目標指標等		指標結果	
不登校児童生徒数 0		不登校児童生徒数 7	
評価	評価	摘要(課題等)	
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

10.01.02-021	事業名	英語指導助手(ALT)設置事業	
予算額(千円)	4,883	実績額(千円)	4,883
事業目的		事業概要	
中学生が直接、外国青年と接し授業を受けることによって、英語への興味や関心を深められる。発音やイントネーション等はもちろんであるが、ALT自国の文化や生活等に触れ国際的視野を広める。		東西中学校に英語指導助手を派遣し、英語教育の充実を図る。また、学習指導要領改訂に伴う小学校での英語教育にも対応する。	
実績・成果			
民間事業者に英語指導助手業務を委託し、英語教育の充実を図った。小学校での英語教育も順調に進んでいる。民間委託(ALT)により、従来のJETによる事務手数を解消している。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
自己評価	評価	摘要(課題等)	
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

Ⅲ(2)知・徳・体が調和した、笑顔かがやく白鷹の子どもの育成

10.02.01-016	事業名	情報教育推進事業(小学校)	
予算額(千円)	3,178	実績額(千円)	2,344
事業目的		事業概要	
教育用パソコンのサポート、保守管理を行い、授業等で有効に使用できるパソコン環境を保つ。		機器の保守点検、サポートを情報センター(アルカディア財団)に委託する。	
実績・成果			
常に使用でき最良の状態に保つよう管理している。町内の情報センターのため対応が早い。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

10.03.01-016	事業名	情報教育推進事業(中学校)	
予算額(千円)	1,785	実績額(千円)	1,466
事業目的		事業概要	
教育用パソコンのサポート、保守管理を行い、授業等で有効に使用できるパソコン環境を保つ。		機器の保守点検、サポートを情報センター(アルカディア財団)に委託する。	
実績・成果			
常に使用でき最良の状態に保つよう管理している。町内の情報センターのため対応が早い。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

Ⅲ(2)知・徳・体が調和した、笑顔かがやく白鷹の子どもの育成

10.02.01-095	事業名	学校生活支援員設置事業	
予算額(千円)	2,537	実績額(千円)	2,089
事業目的		事業概要	
適切な学級経営を行うため、低学年の多人数等の学級や集団生活に馴染めない児童のいる学級に学習指導補助員を配置する。		35名以上のクラスや集団生活不適応児童のいるクラスなどに配置し、個別指導やTTの対応にあたる。	
実績・成果			
鮎貝小に1名、荒砥小に1名を配置した。不適応児童の対応や多人数教室のTTとして対応。いずれも適切な学校生活支援ができた。			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

10.03.01-022	事業名	生活指導員設置事業	
予算額(千円)	4,144	実績額(千円)	4,071
事業目的		事業概要	
不登校、不適応生徒、別室登校生徒に個別指導等による対応を図り支援する。		普通教室に入れないなど個別支援を要する生徒に適切な学習体制をとり対応する。教員有資格者を東西中学校に1名ずつ配置する。	
実績・成果			
不適応生徒、別室登校生徒の指導等のため東西中学校に1名ずつ配置し、よりきめ細かな指導ができた。スクールカウンセラー、教育相談員とも連携し、指導できた。			
目標指標等		指標結果	
不登校生徒数 0 別室登校生徒数 0		不登校生徒数 10 別室登校生徒数 0	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

Ⅲ(2)知・徳・体が調和した、笑顔かがやく白鷹の子どもの育成

10.02.01-090	事業名	芸術鑑賞教室(小学校)	
予算額(千円)	603	実績額(千円)	557
事業目的		事業概要	
芸術を愛好する心情と感性を育て豊かな情操を養う		劇団虹っ子による「風の童子」の公演を行った。町内の小学生が2つに分かれて演劇を鑑賞し情操教育を行った。一人200円の個人負担をもらっている。	
実績・成果			
演劇目録から相応しいものを選定した。目の前で演劇に触れ合い、感性豊かな子どもたちの育成をしている。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

10.03.01-056	事業名	芸術鑑賞教室(中学校)	
予算額(千円)	291	実績額(千円)	286
事業目的		事業概要	
芸術を愛好する心情と感性を育て豊かな情操を養う		劇団め組による「走れメロス」の公演を観賞した。町内の中学生が一同に介して演劇を鑑賞し情操教育を行った。一人200円の個人負担をもらっている。	
実績・成果			
演劇目録から中学生に相応しいものを選定した。目の前で演劇に触れ合い、感性豊かな子どもたちの育成をしている。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

Ⅲ(2)知・徳・体が調和した、笑顔かがやく白鷹の子どもの育成

10.02.01-108	事業名	小学校社会科副読本編集事業	
予算額(千円)	2,371	実績額(千円)	1,737
事業目的		事業概要	
本町独自の副読本を作成することで学習意欲や郷土愛を養う。		教科書の改訂に伴い3～4年生で使用する社会科副読本を編集する。編集委員は各校社会科担当者による。次回教科書改訂までの4年分を印刷する。	
実績・成果			
編集委員の尽力により身近な写真等が満載の成果品が完成した。学習指導要領の改正もあわせた内容となった。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

10.02.02-030	事業名	学力向上推進事業(小学校)	
予算額(千円)	1,067	実績額(千円)	1,043
事業目的		事業概要	
児童の学力向上に資する。		知能テスト、学力テスト、自己診断テストを実施する。	
実績・成果			
各種テストの実施により学力の位置づけを確認し、指導強化策に役立った。			
目標指標等		指標結果	
標準学力検査点数 55		標準学力検査点数 54.5	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

Ⅲ(2)知・徳・体が調和した、笑顔かがやく白鷹の子どもの育成

10.03.02-020	事業名	学力向上推進事業(中学校)	
予算額(千円)	867	実績額(千円)	825
事業目的		事業概要	
生徒の学力向上に資する。		知能テスト、学力テスト、自己診断テストを実施する。	
実績・成果			
各種テストの実施により学力の位置づけを確認し、指導強化策に役立った。			
目標指標等		指標結果	
標準学力検査点数 55		標準学力検査点数 51.4	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

10.02.02-015	事業名	〈明許繰越〉 理科教育等設備整備事業(小学校)	
予算額(千円)	4,472	実績額(千円)	4,453
事業目的		事業概要	
学校教育における理科教育の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、理科設備等の整備を行う。		理科教育振興法に基づき、理科備品等設備を整備する。 新学習指導要領では、授業時数、内容の大幅増加に対応し、観察・実験器具等の拡充を図る。	
実績・成果			
国の補助事業等を活用し、各校とも新学習指導要領に対応する、観察・実験器具等の拡充を図った。			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
A	備品・設備等の有効活用		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

Ⅲ(2)知・徳・体が調和した、笑顔かがやく白鷹の子どもの育成

10.03.02-015	事業名	(明許繰越) 理科教育等設備整備事業(中学校)	
予算額(千円)	1,363	実績額(千円)	1,352
事業目的		事業概要	
学校教育における理科教育の振興を図るため、理科教育振興法に基づき、理科設備を整備する。		理科教育振興法に基づき、理科備品等を整備する。新学習指導要領では、授業時数、内容の大幅増加に対応し、観察・実験器具等の拡充を図る。	
実績・成果			
国の補助事業等を活用し、各校とも新学習指導要領に対応する観察・実験器具等の拡充を図った。			
目標指標等		指標結果	
評価	摘 要 (課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

10.02.02-040	事業名	特色ある学校経営推進事業(小学校)	
予算額(千円)	675	実績額(千円)	674
事業目的		事業概要	
地域に開かれた学校として地域との連携により特色ある授業・行事等を行い心豊かな児童の育成を図る。		総合的な学習や学校行事に地域の方々から事業に関わってもらい、地域に開かれた学校づくりを進める。	
実績・成果			
地域の方の協力のもとに自然・福祉・地域文化など各種活動を実施した。児童の協調性や豊かな心を養うことに有効だった。			
目標指標等		指標結果	
評価	摘 要 (課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

Ⅲ(2)知・徳・体が調和した、笑顔かがやく白鷹の子どもの育成

10.03.02-030	事業名	特色ある学校経営推進事業(中学校)	
予算額(千円)	529	実績額(千円)	528
事業目的		事業概要	
職場体験を含むキャリア教育やで専門的な指導を受けたり、自主的な体験学習を促すことにより生徒の個性、自主性の向上を図る。		総合的な学習や学校行事に地域の方々から独自の事業について指導を得る。	
実績・成果			
各種活動やキャリア教育の実施により他校にない活動を実施した。生徒の自主性を伸ばすことに有効だった。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必

事業点検評価調書

Ⅲ(2)知・徳・体が調和した、笑顔かがやく白鷹の子どもの育成

事業名	学校給食共同調理場費		
事業費（千円）	17,283	事業NO	10.05.03-010
事業目的		事業概要	
「健やかな体を持つ、たくましい子どもを育てる」という教育目標のもと、安心安全な学校給食を安定的に提供するとともに、食育の推進を図る。		町内7校約1,400食の給食を調理し学校に配送しました。また、食育の推進を図るため、地元農産物の積極的使用する「しらたかフード恵みの日」の実施、郷土料理の提供、調理場郵便等の定期的発行を行いました。	
実績・成果			
学校給食の安定供給に努め、予定された給食について完全に提供することができた。アレルギー対応食については、現在7名の子どもに提供した。食育の推進については、各学校の給食主任と連携を図りながら実施し、子どもたちの食に対する関心度を高めることができた。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要（課題等）		
A	食材の価格が上昇しており、給食費の改定について検討する必要がある。		

※評価 A：現状維持、あるいは拡充を図る B：若干の改善必要 C：大幅な改善必要 D：休廃止・延期・中止必要

事業名	調理場施設整備事業		
事業費（千円）	13,997	事業NO	10.05.03-012
事業目的		事業概要	
給食の安定供給を図るため、老朽化した施設の維持管理に努める。		調理場ボイラー更新工事を実施した。	
実績・成果			
夏休みに工事を実施し、2学期より稼動した。			
目標指標等		指標結果	
-		-	
評価	摘要（課題等）		
A	調理機器やボイラー等の機械設備については、ここ数年で更新を行い稼動については支障が無い状況です。しかし、建物本体については、昭和57年の新築された施設であり、老朽化により雨漏りや、クラック（ひび割れ）が散見される。新築を含めた今後の対応を検討する必要があります。		

※評価 A：現状維持、あるいは拡充を図る B：若干の改善必要 C：大幅な改善必要 D：休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

Ⅲ(3)共に白鷹の子どもたちを育てる、連携教育の推進

10.01.02-030	事業名	荒砥高校活性化事業	
予算額(千円)	400	実績額(千円)	390
事業目的		事業概要	
荒砥高校の特色ある学校づくりを支援し、同校の発展存続と青少年の人材育成を図る		荒砥高校が魅力づくりのために行う職場体験学習、運動部強化、かわら版発行等に補助金を支出し支援する。 荒砥高校を考える会に補助金を支出し広報誌発行、再編整備の情報交換等を行い地域の高校づくりを支援する。	
実績・成果			
荒砥高校は、企業見学、運動部強化、体験入学、まなびサポーター等により高校の魅力づくりの図った。荒砥高校を考える会は、高校再編計画説明会の参加や要望活動、広報誌発行等により地域を巻き込んだ運動を展開した。			
目標指標等		指標結果	
H22入学者数 80名		H22入学者数 66名	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

10.01.02-031	事業名	荒砥高校新入生応援事業	
予算額(千円)	4,150	実績額(千円)	3,905
事業目的		事業概要	
荒砥高等学校の新入生を確保することにより同校の充実・存続を図り、ひいては町の教育、産業、経済の発展と本町のまちづくり推進を図る		荒砥高校の分校化・廃校を避け存続させるため、入学生に対し入学費用の一部として一人6万円を助成し、入学生を確保する。	
実績・成果			
債務負担行為により入試前から各中学校に制度を周知し、入学生を確保にあたった。荒砥高校入学生に対し入学費用に使える新歓応援券を一人6万円分支給し、家計を援助するとともに、地域経済の振興も図った。			
目標指標等		指標結果	
H22入学者数 80名		H22入学者数 66名	
評価	摘要(課題等)		
A			

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

IV(1)「学びの機会」を充実し、自己を磨く人づくり

事業NO. 1	事業名	社会教育振興大会	
予算額(千円)	127	実績額(千円)	82
事業目的		事業概要	
本町における社会教育の振興を図ることを目的に隔年で開催している大会。功労者の顕彰と参加者の研修の機会づくりとするもの。 また、今回のテーマは「公民館」に焦点をあて、地域づくりの拠点としての公民館の役割を探った。		1 須藤恒雄生涯教育推進基金表彰(文化賞3名、自治功労賞5名) 2 記念講演 演題「公民館からはじめるまちづくりのススメ」 講師 東北大学大学院教育学研究科 准教授 石井山 竜 平 氏	
実績・成果			
参加者総数62名(案内者数293名 21.16%) 講演内容:満足度60.59%、理解度58.24%			
目標指標等		指標結果	
参加者数 100名		達成率 62名(達成率62%)	
評価	摘 要 (課題等)		
C	公民館の役職員等が主な対象であるため、50・60代の参加者が多数を占めてしまうので、若年層の参加促進を検討する必要がある。会場の評価は「良」だが、今年度は産業センターの建設工事とも重なり、駐車場が狭いなども課題もあった。次回開催の際は、もっと対象者を絞るなど、より効果的な開催方法を検討したい。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業NO. 2	事業名	生涯学習推進事業	
予算額(千円)	107	実績額(千円)	73
事業目的		事業概要	
家庭教育の向上と食育の推進。 生涯教育の実践を奨励するため、各分野に寄与した方を表彰する。		親子を対象に郷土料理教室を行い、白鷹町に伝わる郷土料理の伝承を行った。 須藤恒雄生涯教育推進基金表彰を行った。 教育事務所の主催する家庭教育出前講座に取り組んだ。	
実績・成果			
健康福祉課と連携し、健康づくり推進員を講師に郷土料理教室を開催した。親子で協力して作業を進めることにより信頼や親子愛を育む。また、小さい時から郷土料理に親しむことにより郷土への愛着や食育を進める。 須藤恒雄生涯教育推進基金表彰として、文化賞3名、自治功労賞5名を表彰した。 家庭教育出前講座は、日本GT(株)さんのご協力を得て実施でき、大きな効果が得られた。			
目標指標等		指標結果	
		郷土料理教室の開催 1回 出前講座開催 1回	
評価	摘 要 (課題等)		
B	健康福祉課と連携し、効果的な講座開催とする。 教育事務所等とも連携を深め、様々な事業に取り組みたい。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

IV(1)「学びの機会」を充実し、自己を磨く人づくり

事業NO. 3	事業名	成人式開催費用	
予算額(千円)	352	実績額(千円)	324
事業目的		事業概要	
白鷹町の将来を担う青年の、二十歳の節目を町をあげて祝い、大人としての自覚を促し、積極的な町づくりへの参画に繋げる。		町内在住、町内出身の成人者を対象として8月15日に開催する。今年は168名を対象。	
実績・成果			
実行委員会を組織し、成人式、成人祭に自主的に関わった。成人式の出席者は、対象者の81%と高く実行委員からの呼びかけが高い参加率につながっているものと思われる。今後も実行委員会での開催を継続したい。			
目標指標等		指標結果	
		成人者出席率 81% (136名)	
評価	摘要(課題等)		
A	受付から開会までスムーズに展開されるよう時間厳守、受付の効率的な業務に勤める。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業NO. 4	事業名	白鷹学講座開催事業	
予算額(千円)	923	実績額(千円)	728
事業目的		事業概要	
地域の社会力や文化力の向上、自ら学び考え、問題を解決する力を養うため、子どもから大人まで生涯各期にわたる学習機会、生涯学習の場の提供を図ること。		①内田美智子講演会(6.29)【家庭教育】/②田勢康弘講演会(7.19)【政治経済】/③最上川舟運文化と人々の祈り~川下地区への誘い~(8.28)【地域学】④映画「嗚呼 満蒙開拓団」上映会(9.26)【平和学習】/⑤おすぎのシネマトーク&映画上映会(10.15)【文化教養】/⑥岩佐十良氏講演会(11.21)【農山村・産業振興】/⑦大人のための社会科見学(12.9)【地域学】	
実績・成果			
白鷹学講座企画委員会を中心に実施している本事業であるが、新しいメンバーの加入などもあり、企画委員会にも活気が出てきている。また、各課との連携によるプログラム、白鷹を知るプログラムなど、新しい取り組みも行なえた。反面、各事業の参加者数は低調であり、設定した定員数からの参加率にすると57.92%という結果であり、特に有料講座が低調であった。分析ではPR不足ということであり、チラシ等の工夫は行っているが最終的には口コミが一番効果の上がる方法であるため、今後の努力が必要である。			
目標指標等		指標結果	
年6回以上		7講座開催 参加者総数724人(定員の57.92%)	
評価	摘要(課題等)		
B	講師の都合、あゆむ事業とのブッキング解消など、各プログラムの日程設定は検討が必要。フィールドワークは好評であり、白鷹を掘り下げるようなプログラムを工夫していきたい。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

IV(1)「学びの機会」を充実し、自己を磨く人づくり

事業NO. 5	事業名	家庭教育支援事業	
予算額(千円)	140	実績額(千円)	120
事業目的		事業概要	
家庭教育向上のため、学習の機会を提供する。		家庭教育の重要性を考慮し、町内小中学校において実施する保護対象の家庭教育の講座を支援する。	
実績・成果			
小学校の就学時健康診断や中学校の入学説明会等を利用し、保護者に子どもとの関わり、見取り、働きかけ等身近な内容で講演等を行った。保護者には有効な学習機会となった。			
目標指標等		指標結果	
		実施校 6校(85.7%)	
評価	摘要(課題等)		
A	学校と連携し、より有効な学習の機会とする。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業NO. 6	事業名	学校支援地域本部事業	
予算額(千円)	2,234	実績額(千円)	1,661
事業目的		事業概要	
「地域の教育力の向上」や「多様な形態の教員支援」などを目的として、西中学校区において実施する事業。		学校に「地域コーディネーター」を設置し、コーディネーターを中心にボランティアの取りまとめなどを行ないながら地域全体で学校支援を支援する体制の構築を目指す。平成21年度の9月から取り組んでおり、国の定額委託事業。	
実績・成果			
本事業に取り組んだことにより、これまでなかなか取り組むことのできなかった分野である学習環境の整備など、環境面で大きな成果を上げていると共に、ボランティア活動を通して地域と学校の融合・連携の深まりが感じられる。 ◎学校支援ボランティア ★登録者数 85名(スポーツ系 55名、文化系 30名 ; PTA 50名、地域住民 35名)★延人数 409名			
目標指標等		指標結果	
		ボランティア登録者数:85名(前年比2.4%増) ボランティア協力延べ人数:409名(前年比143.45%)	
評価	摘要(課題等)		
A	平成23年度からは国・県・町それぞれ3分の1ずつの補助事業に転換される。また、ボランティアを組織化することで、小学校とも連携した事業へとする取り組みも行なっていくたい。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

IV(2)「住民主体の公民館活動を充実し、かかわりが深まる地域づくり

事業NO. 1	事業名	協働のまちづくり交付金	
予算額(千円)	21,558	実績額(千円)	21,558
事業目的		事業概要	
地域の主体性に基づく地域活性化の振興と特色ある公民館事業の推進を図る		住民による主体的な公民館運営を目的に、生涯学習の実践の場となる地区公民館の管理や事業費として交付する。この交付金により、講座や教室など特色ある事業の実施や分館活動の事業助成を行っている。	
実績・成果			
地域づくり事業として公民館まつり、新春交流会、研究集会在各公民館で開催され、運営委員、分館長、書記等が積極的に関わり、地域づくりの拠点としての活動が行われた。また、家庭教育、高齢者、婦人等を対象とした講座が開催され、学びの機会の提供が積極的に行われた。			
目標指標等		指標結果	
		講座・事業の総数:363件 講座・事業の総参加者数:13,903人 ※6館合計	
評価	摘要(課題等)		
A	通年開催講座のサークル化への指導 分館との連携 それぞれの地区公民館において、それぞれ個別の課題があり、情報の共有を図りながら課題解決に向けていく必要がある。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業NO. 2	事業名	放課後子どもプラン推進事業	
予算額(千円)	1,267	実績額(千円)	1,118
事業目的		事業概要	
子ども達が地域社会の中で心豊かですこやかに育まれる環境づくりを推進し、安全、安心な活動拠点(居場所)づくりとして、小学校施設や公民館施設等を活用し、地域の方々の協力を得て「放課後子ども教室」を実施し、スポーツや文化活動、地域住民との交流活動を行うことを目的としている。		放課後における子どもの安全・安心な居場所づくりを目的として実施するもの。学校施設や地区公民館等において、学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動などを行う。22年度は、蚕桑と鷹山小学校を対象とし、それぞれ地区公民館に事業を委託して実施する。	
実績・成果			
町内初の取り組みとして、鷹山の教室については教育委員会の直営事業として実施してきたが、地区公民館を主体とすることにより、地域の方々の公民館との関わりが深まることをねらいとして、地区公民館に事業を委託して実施してきた。事業費の制約などの課題もあったが、両地区公民館を主体に地域の方々から協力を得て交流しながら様々な体験活動を実施できた。			
目標指標等		指標結果	
放課後子ども教室2校で実施		2校で実施 参加児童の延べ人数:980人 スタッフの延べ協力時間数:680H	
評価	摘要(課題等)		
B	放課後子ども教室と児童クラブの連携。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

IV(3)生涯学習環境の整備による学びの意欲づくり

事業NO. 1	事業名	分館施設整備補助事業	
予算額(千円)	2,500	実績額(千円)	1,953
事業目的		事業概要	
各分館において実施される施設の建設や修繕などの事業に対して補助を行なう。 また、公民館における住民同士の対話などが進むことにより、地域コミュニティの活性化もねらいとする。		「地区公民館分館施設整備費補助金交付規程」に基づき、総事業費10万円以上の事業に対し、次の補助率を基準に予算の範囲内で補助金を交付。 補助率等 新築:30%以内(限度額300万円) 増・改築、修繕:30%以内(限度額30万円) 備品購入等:20%以内(限度額10万円)	
実績・成果			
平成22年度から補助金交付規程をより活用しやすい制度への見直しを実施。その結果、686千円を当初予算で計上していたが、16件(うち1件は滝野交流館施設機能強化事業での支出)の申請があり、補正(6月)対応で2,500千円を確保して実施した。全分館に対し、規定どおりの補助金の交付を実施することができた。 また、平成23年度の予算編成に伴い、予定される事業調査も実施し、予算編成の資料とした。			
目標指標等		指標結果	
前年度実施件数:2件 以上		16件 (事業費総額¥7,185,278円)	
評価	摘 要 (課題等)		
A	老朽化の進む分館の増・改築、修繕を中心として制度の見直しを行い、補助限度額として30万円(総事業費100万円)としたが、トイレ改修など総事業費が100万円を超える高額な事業もある。一方で、人口・戸数減少、高齢化の著しい進展などにより、改修等の事業を実施したくてもなかなか難しいケースなどもあり、検討が必要である。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業NO. 2	事業名	東根地区公民館屋根修繕工事	
予算額(千円)	1,155	実績額(千円)	1,134(1,271)
事業目的		事業概要	
東根地区公民館旧館部分の屋根の損耗が著しいことから、破損箇所の修繕と塗装を行ない、良好な環境下での公民館活動につなげていただく。		総事業費:1,134,000円 工 種:屋根葺替え補修(欠損部補修)25㎡ 塗装441.09㎡ ※追加工事(屋根棟伏修繕):136,500円	
実績・成果			
雨漏り等の不安解消につながった。また、年度当初からの事業実施で迅速な対応ができたと共に、完成検査を行った際に棟請負業者:長谷川建設株式会社 伏の不具合も発覚したため、予算の補正対応を行い、追加で修繕を行うことができた。 工期:平成22年4月19日～平成22年6月4日			
目標指標等		指標結果	
施設の利便性向上		目的達成	
評価	摘 要 (課題等)		
A	地区公民館の施設整備については、年度計画を組み合わせながら、計画的に実施していく必要がある。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

IV(3)生涯学習環境の整備による学びの意欲づくり

事業NO. 3	事業名	十王地区公民館側溝整備工事	
予算額(千円)	402	実績額(千円)	357
事業目的		事業概要	
十王地区公民館の雨水が隣地の農地に流れ込み、作付けに障害を生ずることから、その対策を行うため。		総事業費:357,000円 工種:側溝L=19.0m 暗渠排水工=17.0m 集水枡工 敷地整地工(敷砂利)10m ³	
実績・成果			
以前から要望されていた懸案事項の解決につながった。 (補正予算により対応)		請負業者:(有)橋本工務店 工期:平成22年9月22日～10月22日	
目標指標等		指標結果	
懸案事項の解決		目的達成	
評価	摘要(課題等)		
A	地区公民館の施設整備については、年度計画を組みながら、計画的に実施していく必要がある。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業NO. 4	事業名	中央公民館大ホール棟解体工事	
予算額(千円)	38,877	実績額(千円)	38,535
事業目的		事業概要	
平成21年度中の検討内容に基づく、中央公民館大ホール棟の解体工事		総事業費:38,535,000円 工種:Aアスベスト撤去工事 B大ホール棟解体工事 ・設計監理業務2,100千円 ・解体工事36,435千円	
実績・成果			
大ホール棟については、建築資材として使用されているアスベストの処理、耐震診断の結果、補強を必要としていた耐震化工事の課題が解決された。		設計監理業務:株式会社 秦・伊藤設計 解体工事:(株)鈴木工務店 工期:平成22年6月7日～平成22年10月25日	
目標指標等		指標結果	
課題の排除		概ね目的達成	
評価	摘要(課題等)		
B	解体工事において、周辺住民とのトラブルなどもあり、今後十分な配慮が必要である。大ホール機能の代替対応については、町内他施設の利用などにより概ね対応できていると共に住民の方々にも浸透してきているが、引き続き相談等に応じていく必要がある。公民館棟のリニューアルについては、図書館の整備も含め再度検討を深めていく必要がある。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

IV(3)生涯学習環境の整備による学びの意欲づくり

事業NO. 5	事業名	滝野交流館施設機能強化事業	
予算額(千円)	7,852	実績額(千円)	7,098
事業目的		事業概要	
滝野区が指定管理をしている滝野交流館(旧滝野小学校)のトイレ整備を行い、施設の機能強化を図るもの。 なお、地域が主体となって実施する工事に対し、整備費の補助として実施した。		総事業費:8,872,500円 (設計・監理630,000円、工事【建築・設備】8,242,500円) 補助率:(1)面積割 事業費総額の80%の金額 (2)分館占用割 面積割残20%に対する分館施設整備費補助金(30%・30万上限)分の金額 <small>※紅花まつり会場となっていることなどもあり、町施設分として面積按分により決定。</small>	
実績・成果			
補正予算において対応。従来体育館奥にあり利便性の悪かったトイレを解体し、施設玄関部にあった旧校長室を改築することでトイレを新設。地域からも要望の高かった清潔で利便性の高い設備としての水洗トイレを設置することができた。		【参考】・設計監理業務:橋本空間計画 ・建築工事:鈴木晴雄 ・設備工事:長谷川建設株式会社 ・工期:平成22年9月13日～11月10日	
目標指標等		指標結果	
施設の利便性向上		目的達成	
評価	摘要(課題等)		
B	年度当初での予算対応をしていなかったため、非常に窮屈な日程での工事となってしまった。地域との連絡調整を密にしていく必要がある。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

VI(1) 歴史的文化的資産の保存活用による誇れる郷土づくり

事業NO. 1	事業名	文化財保護調査事業	
予算額(千円)	266	実績額(千円)	100
事業目的		事業概要	
文化財の計画的な調査と保護を行い町民の誇りである文化遺産を守り継承していく。		文化財の保護、管理、調査の実施と指定文化財(国・県・町)の保護活用及び管理事業の実施	
実績・成果			
町内の神社・古典桜・史跡調査などを行いながら良好な文化的資源の保存・管理に努める。			
目標指標等		指標結果	
1箇所		2箇所	
評価	摘要(課題等)		
A	祖先が守り伝えてきた文化的資源の調査を行う調査員の確保が難しい。		

※評価 A: 現状維持、あるいは拡充を図る B: 若干の改善必要 C: 大幅な改善必要 D: 休廃止・延期・中止必要

事業NO. 2	事業名	粥餅田湿原保全事業	
予算額(千円)	20	実績額(千円)	7
事業目的		事業概要	
このエリアの中には、学術的には貴重なトンボや絶滅危惧種に指定されている植物など、貴重な自然環境がある。このまま放置するのではなく、対象区を設けて保全活動を行い維持保全の方策を検討する。		昭和57年に町指定天然記念物とされ、その保全の必要があったが、年1回の通路の葦刈りのみのため、指定当時(葦の増加により湿地がなくなる。)とは様変わりしている現状である。粥餅田湿原保全計画を作成し、計画に基づいてエリア内の動植物の保護を行う。ボランティアにより葦刈りを行い絶滅危惧種動植物の保護に努めると共に天然記念物に対する町民の関心の高揚を図る	
実績・成果			
積極的な保全対策が必要ということで2008年から活動を開始する。ボランティアの協力により湿原の生態系の維持保全の方策や留意点について検討し対象区を設けて、状況を確認しながら保全作業をおこなう。			
目標指標等		指標結果	
絶滅危惧種数		絶滅危惧種植物 8種類	
評価	摘要(課題等)		
A	湿原のため学術的に貴重な植物などが、多くあるため広く開放すると絶滅の危機に瀕する。こういう植物がこの地にあるということをいかにして知らしめるか。関心のあるボランティアにより実施しているがけっこう大変な作業でもある。		

※評価 A: 現状維持、あるいは拡充を図る B: 若干の改善必要 C: 大幅な改善必要 D: 休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

VI(2)文化団体の育成・支援による心通わせる人づくり

事業NO. 1	事業名	芸術文化振興(芸術祭)事業費	
予算額(千円)	688	実績額(千円)	688
事業目的		事業概要	
生涯を通じて心豊かな人生を送るために芸術文化の振興を図る。		町芸術文化協会との連携により芸術祭を行う。芸術の発表を通して芸術文化の振興と生きがい作りの創出を図る。 内容 音楽祭(小・中・高校生)公演部門 芸能まつり・謡曲 展示部門 写真・絵画・書道・盆栽・生花・茶席	
実績・成果			
小・中・高校生による音楽祭や謡曲・芸能まつりなどの公演部門と展示部門の2部門に分かれて実施。今年度の音楽祭は鷹山小・鮎貝小・東中・荒砥高校生による発表となる。芸能祭りにおいては白鷹高等専修学校の学生によるファッションショー・舞踊・民謡・民踊り・太鼓・よさこい等幅広い発表となる。芸文協会に加盟している団体においては1年間の成果の発表でもある。期間は5日間で入込み数は2200名でした。会場は文化交流センター「あゆむ」。町民の方に周知する為にプログラムを作成して事前に全戸配布する。			
目標指標等		指標結果	
人口の13%		約15%	
評価	摘要(課題等)		
A	今後とも継続した開催となるように努めてまいります。ホールの席数や舞台の高さ・設備などにおいて鑑賞者と出演者をいかにしたら満足させられるのかを検討しながら開催していきます。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業NO. 2	事業名	芸術文化鑑賞(山響演奏会)事業	
予算額(千円)	833	実績額(千円)	833
事業目的		事業概要	
芸術・文化にふれあう機会の少ない地域で山形交響楽団の演奏会を催し、町民の心の豊かさを高める。		文化による町づくり推進するために、山形交響楽団による演奏会を開催する。	
実績・成果			
この演奏会はハーモニーコンサート実行委員会が企画から会場準備等までの全ての業務を実施してもらっている。開催演奏曲目としてチャイコフスキーの「弦楽セレナード ハ長調 作品48」とメンデルスゾーン交響曲第4番 イ長調 作品90「イタリア」の演奏となる。交響楽を演奏するには会場は狭いがお客様には音がとてもよかったというふうなお褒めのことばもいただく。			
目標指標等		指標結果	
人口の1パーセントの入場者数		200人	
評価	摘要(課題等)		
A	交響楽を行うには会場の大きさの問題などもあるがむしろホットなコンサートとして大変良いコンサートになっている。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

VI(2)文化団体の育成・支援による心通わせる人づくり

事業NO. 3	事業名	伝統芸能保存伝承事業	
予算額(千円)	150	実績額(千円)	150
事業目的		事業概要	
町指定無形文化財である高玉芝居を定期的に公演し多くの人に知ってもらおうと共に後継者育成にも努めながら保存・継承していく。		第18回国民文化祭を受けて「高玉芝居」の保存継承のため定期公演を開催し多くの方に鑑賞していただく。	
実績・成果			
町指定の無形文化財である高玉芝居を定期的に公演することにより多くの方々にご覧いただくと共に出演する場をつくることにより後継者の育成をも図れるものである。			
目標指標等		指標結果	
180名		243名	
評価	摘要(課題等)		
A	今年度は大雪のため前売券の売れ行きについても心配されたが、昨年よりも販売枚数は良かった。当日玄関前に並ばれる方もおられたので若干早めの開場とする。場内の飲食禁止をしているがお客様の要望もある。芝居見物としては食べながらということも考えられるが、多くの人(子ども達などを含む)に鑑賞していただくためには館内においての飲食は慎重にすべきである。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業NO. 4	事業名	子ども芸術文化育成事業	
予算額(千円)	150	実績額(千円)	150
事業目的		事業概要	
町内の児童生徒が参加できる芸術文化団体の育成を図る		合唱団を創設し、町内全域の幼児・児童・生徒から広く団員を募集し、練習を重ね、文化交流センターなどあらゆる機会をとらえて発表し歌声の響くまちづくりを図っていく。次世代を担うこどもたちの文化力の向上を図ると共に楽しく夢のある町づくりをも推進していく。	
実績・成果			
合唱団を創設し、現在会員は44名となる。月3回のペースで土曜日の午前9時から練習を実施している。指導者と伴奏者にも恵まれ順調な歩みを始めている。子ども達も多くの発表の場をいただいて、ぐんぐん成長している姿もみられる。			
目標指標等		指標結果	
会員20名		44名	
評価	摘要(課題等)		
A	どうしても幼児と低学年の児童が多い為、指導者の負担が大きい。中学生になると部活などの兼ね合いで退団してしまう。せっかくいい声ができるようになった時でもあるので残念である。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

VI(3)文化を介した交流、未来にはばたく人づくり

事業NO. 1	事業名	文化交流センター管理運営事業	
予算額(千円)	32,282	実績額(千円)	
事業目的		事業概要	
		平成21年10月にオープンした白鷹町文化交流センターあゆむの管理及び運営に関する事業費。このうち嘱託職員等人件費に係る経費が8,903千円。光熱水費や保守管理委託費など管理に関する費用が16,174千円、自主事業にかかる経費が5,000千円、案内看板の設置にかかる経費が2,205千円。	
実績・成果			
平成23年度より指定管理者による管理運営に移行。指定管理料は35,000千円。			
目標指標等		指標結果	
交流人口の増加 32,400人		27,954人	
評価	摘要(課題等)		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

VI(4)国民読書年を踏まえた利用しやすい図書館づくり

事業NO. 1	事業名	読書感想文コンクール開催事業	
予算額(千円)	244	実績額(千円)	207
事業目的		事業概要	
読書感想文並びに生活文の募集を行い、町民各層が本に親しみ、読書量の増大に資するものである。		広く町民から感想文を募集し優秀な作品をたたえと共に、未来を担う子供たちが本を通して自己を見つめ将来に向かってどのように進んでいったらいいのか試行錯誤する場の提供と、読書力の向上を推進する。20年度から特別賞として童門冬二賞も設ける。	
実績・成果			
学校教育が忙しい中において先生方にも負担をかけている部分はありますが、子ども達が本を読み書くことを通し自己を見つめるきっかけになればということで実施している。併せて入選者による作品集も作成し、学校などにも配布する。平成20年度より特別賞童門冬二賞も授与する。学級数の減などにもよるが応募者数は49点である。			
目標指標等		指標結果	
応募点数各学級1点		応募総数49点	
評価	摘要(課題等)		
A	物語を読んだので応募が多い、もっと科学的なものを読むなど選書の中を広げてほしい。感動したこともありきたりな言葉が多いなどということが審査員よりあげられた。今年度の一般の応募者数は2点でしたが、いかにしたら増やせるかが課題である。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業NO. 2	事業名	お話しの会運営費	
予算額(千円)	92	実績額(千円)	72
事業目的		事業概要	
生の声で語り伝える事により子どもの夢と豊かな心を育む。本の面白さを知ってもらい、生涯を通して本を読む習慣の確立を図る。		毎月第1土曜日午前10時から図書館の児童コーナーで子どもの夢と豊かな心を育むため読み聞かせ・語り・伝承遊びなどを行いながら読書啓蒙活動を実施する。併せて読み聞かせボランティアを養成するために読み手育成実技講習会を開催する。	
実績・成果			
白たか子どもの本研究会・荒砥高等学校の図書館部会の協力をいただきながらの開催である。参加者数もその月によりいろいろではあるが通算すると287回を終了する。子ども達の笑顔がみられる。			
目標指標等		指標結果	
1回10名		11人	
評価	摘要(課題等)		
A	ボランティアの協力により20年以上も継続している事業である。ただ児童コーナーが狭い為お話しの会で閲覧室のスペースがとられてしまう。以前は子ども達同士が誘いあいながら(かぎっ子など)参加していたが、今は保護者と一緒の参加が多い。又、子ども達も年中忙しそうで参加する人も少なくなっている。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

VI(4)国民読書年を踏まえた利用しやすい図書館づくり

事業NO. 3	事業名	図書館情報システム運営事業	
予算額(千円)	708	実績額(千円)	708
事業目的		事業概要	
図書館システムにより利用者の利便性を図る。		図書資料のデータベース(資料を組織的に整理統合)化を行い資料検索・貸出返却機能の迅速化を図る。	
実績・成果			
図書館の利用として1日平均の貸出冊数は79冊利用者は37人である。			
目標指標等		指標結果	
1日平均貸出冊数65冊		82冊	
評価	摘要(課題等)		
A	図書館のスペースが狭く、閲覧室・開架スペースが極端に狭くなっている。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

V(1)健康・生活スポーツの環境整備に務め、心豊かになる人づくり

事業NO. 1	事業名	第45回白鷹若鮎マラソン大会開催事業	
予算額(千円)	1,500	実績額(千円)	1,500
事業目的		事業概要	
町最大のイベントである大会を開催し、町民の生涯スポーツの推進、競技力の向上を図る。		9月19日(日)日本陸連公認第7669号コースで開催する。毎年約900名の参加者が、各種目により競技する。	
実績・成果			
925名がエントリーし、6種目により開催した。			
目標指標等		指標結果	
		参加者数925名 6種目開催	
評価	摘要(課題等)		
A	今後も継続して開催するとともに、各協力団体との連携を密にして、安全かつ効率的な大会運営を行う。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業NO. 2	事業名	町誕生56周年記念地区対抗駅伝競走大会	
予算額(千円)	426	実績額(千円)	426
事業目的		事業概要	
		白鷹町誕生56周年を記念し10月10日(日)白鷹町1周コースで開催する。	
実績・成果			
各地区7チーム(蚕桑2チーム)が参加し大会を実施しました。選手の競技力の向上、スポーツの振興に対する意識の向上が図られた。			
目標指標等		指標結果	
		7チーム参加	
評価	摘要(課題等)		
A	各地区での選手育成について補助を継続し、今後も大会を継続して開催する。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

V(1)健康・生活スポーツの環境整備に務め、心豊かになる人づくり

事業NO. 3	事業名	白鷹町総合型スポーツクラブ育成支援事業	
予算額(千円)	2,407	実績額(千円)	2,378
事業目的		事業概要	
生涯スポーツの振興を図るため、気軽にスポーツする機会の提供、地域住民の交流を図るため結成された総合型地域スポーツクラブの基盤強化を図るため支援する。		総合型地域スポーツクラブ支援、生涯スポーツ関連事業を推進する。ふるさと雇用再生特別基金事業。新たに設立された白鷹町総合型地域スポーツクラブに対し、基盤づくりに関する補助を行う。	
実績・成果			
平成21年度は、6コースにより開催し、会員107名が活動を行いました。			
目標指標等		指標結果	
		6コース開催 会員数107名	
評価	摘要(課題等)		
A	クラブ組織の充実、指導者の確保育成が必要。活動拠点施設、クラブハウスの確保について検討必要。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

V(2)スポーツ団体・関係機関の連携による競技スポーツの推進と指導者づくり

事業NO. 1	事業名	白鷹町スポーツ振興基金事業	
予算額(千円)	2,400	実績額(千円)	2,400
事業目的		事業概要	
白鷹町スポーツ振興基金を設置し、その利子等により町民の生涯スポーツに振興を図る。		スポーツ振興基金運営委員会の決議に基づき、競技力向上対策事業、スポーツ団体の育成、健康づくり推進事業等を実施する。	
実績・成果			
1.競技力向上対策事業、2.町体育協会活動助成事業、3.各競技団体選手育成事業、4.町スポーツ健康づくり普及事業、5.体育指導委員会活動助成事業、6.スポーツ少年団育成事業、7.町スポーツ夢タウン創造事業を実施しました。			
目標指標等		指標結果	
		7事業に交付 (交付額2,450,000円)	
評価	摘 要 (課題等)		
A	事業の予算配分の再検討。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業点検評価調書

V(3)安心・安全なスポーツ環境づくり

事業NO. 1	事業名	保健体育施設費	
予算額(千円)	33,315	実績額(千円)	29,649
事業目的		事業概要	
生涯スポーツの場を提供として、スポーツ施設の適正な維持管理、及び運営を行う。		生涯スポーツ所管の施設運営管理費。スポーツ公園、紬パーク、東陽グラウンド、スキー場等。	
実績・成果			
各スポーツ施設について維持管理を行い、一般開放、営業を実施しました。			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
A	施設の適正管理。老朽化した施設の維持補修。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要

事業NO. 2	事業名	就業構造センター費	
予算額(千円)	2,305	実績額(千円)	1,898
事業目的		事業概要	
生涯スポーツの場を提供として、スポーツ施設の適正な維持管理、及び運営を行う。		就業構造改善センター維持管理費。	
実績・成果			
施設の維持管理を行った。			
目標指標等		指標結果	
評価	摘要(課題等)		
C	施設が老朽化しており大規模な改修が必要。		

※評価 A:現状維持、あるいは拡充を図る B:若干の改善必要 C:大幅な改善必要 D:休廃止・延期・中止必要